

セキスイハイム® presents

ウラディーミル・アシュケナーズ指揮  
アイスランド交響楽団

ピアノ | 辻井伸行



ICELAND SYMPHONY  
ORCHESTRA

conductor

**Vladimir Ashkenazy**

piano

**Nobuyuki Tsujii**



## 親愛なる日本の皆様へ

私どもアイスランドは優秀な演奏家に恵まれております。首都レイキャビクを拠点とするアイスランド交響楽団は、クラシック音楽の分野における私たちの旗頭です。他のジャンルでも名を遂げた音楽家が多くおります。国際的に最も有名なアイスランドの音楽家といえばビョークでしょう。その唯一無二の声、引き込まれる歌曲は世に聞こえたところです。

何世紀もの間、アイスランドでは音楽は日々の暮らしの一部であり、暗い凍てつく冬の夜を私どもの先祖たちは物語を語り叙事詩を詠って楽しく過ごしました。アイスランドにおけるクラシック音楽は、周囲の隣国に比べ歴史が浅く、ショパンやラフマニノフやシベリウスが不朽の名作を作曲した頃、アイスランドにはまだそれらを演奏できる交響楽団はありませんでした。アイスランドで初めて交響楽団が演奏したのは、1926年のことです。すなわち交響曲や管弦楽曲等の演奏歴は百年に満たず、1950年にアイスランド交響楽団が創立されて初めて国民は、習慣的にこれらの偉大な傑作を生で聴く機会を得たのでした。

進化はめざましいものでした。百年前のアイスランド人には、自国のオーケストラが地球を回って故里遠く離れた異国の人に演奏するなどとは夢にも思えなかったでしょう。これについては、この島に移り住んだ、高い専門教育を受けた欧州の演奏家たちの果たした重要な

役割を忘れてはなりません。私どもは誇りと喜びをもって、こうした成長と発展はひとえに海外の友人たちからの教えの賜であると自認しております。これらのご筆頭がまさしく名高いピアニストで指揮者のウラディーミル・アシュケナージ氏です。アシュケナージ氏は、暫くご家族と共にアイスランドに暮らし、アイスランド人の生活と文化に積極的に関わり、アイスランドのクラシック音楽の奨励と強化に大いに努められました。また、ピアニストとして1964年に初めてアイスランド交響楽団と共演され、その数年後に指揮棒をとられ、アイスランド交響楽団で初めて指揮者として登壇されました。

アイスランド交響楽団は私どもの誇りです。2011年には、楽団にとって初めての第一級のコンサートホール、「ハルパ・レイキャビク・コンサートホール」がレイキャビクの中心部の港沿いに開館しました。創立以来オーケストラは成長を遂げ、今や世界中に数ある名高いオーケストラと比肩されるほどになりました。大変喜ばしいことにアイスランド交響楽団は今日日本を巡演しております。演奏会にお越し頂いたお客様に喜びをお届けし、日本の皆様にアイスランドの国と人、そして音楽文化へのご興味を喚起して下さるようお願いしております。

アイスランド共和国 大統領

グドゥニ・トルラシウス・ヨハネソン

2018年

プログラム

神奈川 **11月3日(土・祝) ミューザ川崎シンフォニーホール** **B**  
主催: エイベックス・クラシックス・インターナショナル 協力: ミューザ川崎シンフォニーホール

静岡 **11月4日(日) アクトシティ浜松 大ホール** **A**  
主催: 静岡朝日テレビ 共催: (公財)浜松市文化振興財団 後援: 中日新聞東海本社  
◆あさひテレビ40周年特別企画《ドリーム・シアターシリーズ》

北海道 **11月6日(火) 札幌文化芸術劇場 hitaru** **B**  
主催: オフィス・ワン 特別協力: TVhテレビ北海道 協力: 札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)  
◆札幌文化芸術劇場 hitaru オープニングシリーズ協力事業

東京 **11月8日(木) 東京オペラシティ コンサートホール** **A**  
主催: エイベックス・クラシックス・インターナショナル

広島 **11月9日(金) 広島文化学園HBGホール** **B**  
主催: 広島ホームテレビ

福岡 **11月10日(土) 福岡シンフォニーホール(アクロス福岡)** **B**  
主催: 九州朝日放送 後援: 福岡市 / (公財)福岡市文化芸術振興財団  
◆九州朝日放送創立65周年記念事業

大阪 **11月11日(日) フェスティバルホール** **B**  
主催: ABCテレビ 協力: フェスティバルホール

愛知 **11月13日(火) 日本特殊陶業市民会館 フォレストホール** **A**  
主催: 東海テレビ放送 協力: クラシック名古屋  
◆東海テレビ開局60周年記念 ◆第22回 スーパークラシックコンサート



© Keith Saunders

岡山 **11月14日(水) 岡山シンフォニーホール** **B**  
主催: 岡山県音楽文化協会 / 岡山シンフォニーホール / 山陽新聞社 / RSK山陽放送

東京 **11月16日(金) 東京芸術劇場 コンサートホール** **B**  
主催: エイベックス・クラシックス・インターナショナル

埼玉 **11月17日(土) 所沢市民文化センター ミューズ アークホール** **A**  
主催: エイベックス・クラシックス・インターナショナル 共催: (公財)所沢市文化振興事業団

新潟 **11月18日(日) 長岡市立劇場 大ホール** **A**  
主催: TeNY テレビ新潟 / (公財)長岡市芸術文化振興財団  
◆長岡市立劇場リニューアルオープン記念



© Ari Magg



© Yuji Hori

プログラム

A

11月 4日 静岡  
8日 東京  
13日 愛知  
17日 埼玉  
18日 新潟

## シベリウス

### 《カレリア》組曲 作品11 (約15分)

Jean Sibelius (1865-1957): "Karelia" Suite, Op.11

- I. 間奏曲 Intermezzo
- II. バラード Ballade
- III. 行進曲風に Alla Marcia

## ショパン

### ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 作品21\* (約35分)

Fryderyk Chopin (1810-1849): Piano Concerto No.2 in F minor, Op.21\*

- I. マエストーソ Maestoso
- II. ラルゲット Larghetto
- III. アレグロ・ヴィヴァーチェ Allegro vivace

————— 休憩 (20分) —————

## シベリウス

### 交響曲 第2番 二長調 作品43 (約45分)

Jean Sibelius: Symphony No.2 in D major, Op.43

- I. アレグレット Allegretto
- II. テンポ・アンダンテ、マルバート Tempo andante, ma rubato
- III. ヴィヴァチッシモ Vivacissimo
- IV. アレグロ・モデラート Allegro moderato

ウラディーミル・アシュケナージ指揮

Vladimir Ashkenazy, conductor

アイスランド交響楽団

Iceland Symphony Orchestra

辻井伸行 (ピアノ)\*

Nobuyuki Tsujii, piano

## セグルビョルンソン

### 氷河のノクターン (約5分)

Thorkell Sigurbjörnsson (1938-2013): Glacier Nocturne

## ラフマニノフ

### ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18\* (約35分)

Sergei Rachmaninov (1873-1943): Piano Concerto No.2 in C minor, Op.18\*

- I. モデラート Moderato
- II. アダージョ・ソステヌート Adagio sostenuto
- III. アレグロ・スケルツァンド Allegro scherzando

————— 休憩 (20分) —————

## ラフマニノフ

### 交響曲 第2番 ホ短調 作品27 (約60分)

Sergei Rachmaninov: Symphony No.2 in E minor, Op.27

- I. ラルゴ - アレグロ・モデラート Largo - Allegro moderato
- II. アレグロ・モルト Allegro molto
- III. アダージョ Adagio
- IV. アレグロ・ヴィヴァーチェ Allegro vivace

ウラディーミル・アシュケナージ指揮

Vladimir Ashkenazy, conductor

アイスランド交響楽団

Iceland Symphony Orchestra

辻井伸行 (ピアノ)\*

Nobuyuki Tsujii, piano

プログラム

B

11月 3日 神奈川  
6日 北海道  
9日 広島  
10日 福岡  
11日 大阪  
14日 岡山  
16日 東京

## シベリウス:《カレリア》組曲 作品11

フィンランド人の精神的故郷とも言われるカレリア地方は、長い間、スウェーデンとロシアが覇を争う紛争地域でもあった。1893年、ロシアの弾圧に反応して、その名も『カレリア』という演劇が、ヘルシンキ大学の学生団体によって上演された。内容は、この地方で起こったさまざまな歴史的事件を、活人画(出演者たちが衣装を身につけてポーズを取り、静止した情景を作る)によって表現するもので、啓蒙活動のための資金集めと、フィンランド人の絆を深めることが目的だった。フィンランドを代表する作曲家ジャン・シベリウス(1865-1957)は、この演劇のために、付随音楽を作曲した。劇そのものはやがて忘れられたが、付随音楽の中から作曲家自身が3つの場面の音楽を選んで作ったこの組曲は、現在でも人気があり、よく演奏される。なお、〈間奏曲〉〈バラード〉〈行進曲風〉という各曲のタイトルは、組曲として出版される際に新たに付けられたものである。

## ショパン:ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 作品21

フレデリック・ショパン(1810-1849)のピアノ協奏曲第2番は、1829年秋に着手され、1830年3月17日、20歳になったばかりの作曲者を独奏者としてワルシャワで初演された。なお、出版順の関係で第2番となっているが、実際には第1番よりもこちらが先に完成していたので、この曲はショパンの最初のピアノ協奏曲ということになる。古典的なピアノ協奏曲の形式に従い、先輩作曲家であるフンメルやモシェレスの影響を強く受けながらも、若きショパンならではのさわやかな覇気とみずみずしい抒情性の感じられるこの協奏曲は、後年のショパンの円熟した作品群とはまた違った魅力を持つ佳品として広く愛されている。

なおショパンはピアノと管弦楽のための作品を、2曲の協奏曲を含めて6曲しか書いていない。しかもそれらはすべて10代後半から20代前半までの若い時代のものだ。ショパンが協奏作品を書くのをやめた理由は明らかではないが、おそらく自分の天分は大きな会場で多くの聴衆を沸かせるヴィルトゥオーゾ演奏家ではないと自覚したからではないかと思われる。

### 第1楽章 マエストーソ

協奏曲の伝統に従い、2つの主要主題をまずは管弦楽が、続いてピアノが提示する、協奏的ソナタ形式を取っている。空から舞い降りてくるようなピアノの登場場面は特に印象的だ。展開部は情熱的に高揚し、クライマックスを築く。

### 第2楽章 ラルゲット

夢見るような旋律が歌われるこの美しい楽章だが、ショパンは、コンスタンツィヤ・グワトコフスカという女性への恋心をこの楽章に込めたということを友人に手紙で明かしている。中間部は雰囲気が一転、弦のトレモロを背景にピアノがレチタティーヴォ風に歌う、ドラマティックな音楽となる。

### 第3楽章 アレグロ・ヴィヴァーチェ

マズルカのリズムに基づくロンド形式のフィナーレ。全曲のうち、技術的に最も難しく、華やかな楽章だ。この曲に限らず、ショパンのオーケストレーションはあまり出来が良くないとされているが、この楽章には、ヴァイオリンとヴィオラがコル・レーニョ(弓の背の部分で弦をたたく)で演奏する部分があるのが凝っている。

## シベリウス:交響曲 第2番 二長調 作品43

シベリウスはさまざまな分野に優れた作品を残したが、その創作の根幹とも言えるのが7曲の交響曲だ。1901年から翌年にかけて作曲された第2番は特に有名で、北欧はもちろん、世界中のオーケストラにより、現在までさかんに演奏されている。初演は1902年3月8日、作曲家自身の指揮によって行われ、成功を収めた。当時のフィンランドは独立国ではなくロシアの支配下にあり、しかもその抑圧は厳しさを増していた。実際に作曲者がそう意図したかどうかはわからないが、当時の聴衆は、このドラマティックな交響曲に、圧政下のフィンランドを鼓舞するというメッセージを聴き取った。

### 第1楽章 アレグレット

打ち寄せる波のような短い弦の序奏に続き、木管による明るい第1主題が出る。なお、弦の序奏のファーソーラ、それを上下逆転した第1主題のファーマーレという音型は、全曲のあちこちに現れる。やがて弦のピチカートのみになり、やや緊迫した空気になるが、その頂点で木管が吹くのが第2主題だ。この楽章は、この2つの主題に基づいて進んでいく。

### 第2楽章 テンポ・アンダンテ、マルバート

ティンパニのロールに続いてとぼと歩くような低弦のピチカートが始まり、やがてファゴットが寂寥感のある歌を歌い始める。その後、アンダンテ・ソステヌートとなり、やや明るく優しい部分がある。楽章後半では、この両部分が、雰囲気を変えてもう一度繰り返される。

### 第3楽章 ヴィヴァチッシモ

8分の6拍子のスケルツォ楽章。激しくほとばしるような主部と、レント・エ・スアーヴェ(ゆっくりと、そしてしなやかに)という指示があり、オーボエがしみじみとした歌を歌うトリオが2度ずつ現れ、休みなしに終楽章に入る。

### 第4楽章 アレグロ・モデラート

ソナタ形式のフィナーレ。2分の3拍子のうねるようなリズムに乗り、弦が輝かしい第1主題を歌い、トランペットが応答する。第2主題は木管の心細げな旋律だ。展開部ではこの2つの主題が繰り返されながら高揚する。

## セグルビヨルンソン: 氷河のノクターン

レイキャビク生まれの作曲家、ソルケットル・セグルビヨルンソン(1938-2013)は、アイスランドの風土に根ざした作品を数多く書き残したほか、指揮者、ピアニスト、教育者、批評家として精力的に活動し、アイスランドの音楽界に貢献した。作品は350曲にのぼり、子供の歌から管弦楽作品、協奏曲、オペラ、バレエなど、ジャンルも多岐にわたる。アシュケナージは彼の作品を高く評価していて、その作品を集めたアルバムを録音したこともある。《氷河のノクターン》は1998年の作品で、アシュケナージの求めで書かれ、彼に献上された。木管はピッコロとクラリネット3本(バスクラリネットを含む)、金管はホルンのみという、音色の限定された変則的なオーケストラのために書かれた約5分の小品だが、いつ果てるとも知れない音型の繰り返しの上に、ピッコロの歌や弦の音型が明滅する印象的な音楽は、厳しい自然の広がりを感じさせる。

## ラフマニノフ: ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18

セルゲイ・ラフマニノフ(1873-1943)は、稀代のメロディ・メーカーであり、20世紀最大のピアニストの一人でもあった。その2つの才能が存分に発揮されたこの曲は、全編にあふれる美しい旋律と華麗なピアノの技巧によって、チャイコフスキーの第1番とともに、あらゆるピアノ協奏曲の中で最も人気のある作品となっている。

この曲の誕生については特異なエピソードが残されている。1897年、交響曲第1番の初演が大失敗に終わったことにショックを受けたラフマニノフはスランプに陥り、ほとんど作曲ができなくなってしまう。しかし、友人の紹介で精神科医ダール博士の診察を受けたラフマニノフは、催眠療法によって次第に快復し、1900年、ついにこのピアノ協奏曲を完成することができた。そしてこの曲は、ダール博士に献上された。

初演は1901年10月27日、作曲者のピアノ、ジロティの指揮によって行われ、大成功を収めた。そして、この曲の憂愁に満ちた旋律美は多くの人々の心をとらえ、すぐに世界中で演奏されるようになった。

### 第1楽章 モデラート

鐘の音をモチーフとする和音連打が次第に高まり、暗い情熱に満ちた第1主題が登場する。甘美で抒情的な第2主題はピアノが提示する。

### 第2楽章 アダージョ・ソステヌート

夢見るような旋律が歌われる緩徐楽章。チャイコフスキーの第1番同様、中間部はテンポが速くなり、楽章の山場を作る。

### 第3楽章 アレグロ・スケルツァンド

2つの主題に基づく自由な形式のフィナーレ。副主題は、ラフマニノフの作品で最もよく知られた美しい旋律である。

## ラフマニノフ: 交響曲 第2番 ホ短調 作品27

1901年、ピアノ協奏曲第2番が成功して、精神的危機を脱したラフマニノフは、作曲のペースを取り戻すことができた。ピアニスト、指揮者としての活動も多忙になっていく。ロシアを代表する音楽家の一人になったラフマニノフだったが、やがて彼は、その名声を次第にわずらわしく感じるようになる。1906年秋、彼はついに、衆人の目を逃れるためにドイツのドレスデンに移り、そこで作曲に専念することを決意した。交響曲第2番が書き始められたのは、1906年10月、ドレスデンでのことだった。大失敗に終わった交響曲第1番から9年が経っていた。1907年4月に完成したこの曲は、翌1908年2月8日、作曲者自身の指揮によって初演され、今度は大成功を収める。

曲は4つの楽章を持ち、全曲でほぼ1時間を要する。第1楽章の序奏の動機、特に冒頭の低弦に出る「ラソラソ」と、次にヴァイオリンに出る「ソラシ」が、各楽章の主題の基礎となっており、これによって全曲の統一が図られている。

### 第1楽章 ラルゴ - アレグロ・モデラート

全曲のほぼ3分の1を占める長大な楽章。陰鬱な雰囲気のある序奏が終わり、主部に入ると、ホ短調の寒々とした第1主題と、ト長調の夢見るような第2主題が提示される。展開部では、主として序奏と第1主題が扱われる。

### 第2楽章 アレグロ・モルト

4分の2拍子のスケルツォ。疾走するようなリズムの伴奏に、ラフマニノフの頻用した《怒りの日》に基づく主題をホルンが吹く。中間部はせわしなく動くフガートである。

### 第3楽章 アダージョ

情感をたっぷり込めたヴァイオリンに続き、クラリネットが息の長い旋律を歌いはじめる。ラフマニノフの真骨頂とも言うべき甘く美しい緩徐楽章。

### 第4楽章 アレグロ・ヴィヴァーチェ

晴れやかで躍動感あふれるフィナーレ。途中には先行楽章の回想も挟まれつつ高揚していき、輝かしく結ばれる。

解説：増田良介



© Keith Saunders

**ウラディーミル・アシュケナージ**  
Vladimir Ashkenazy, conductor

旧ソヴィエト連邦のゴリキー（現在のニジニ・ヴゴロド）生まれ。1955年のショパン国際ピアノ・コンクールで第2位を獲得。翌年ブリュッセルで開催されたエリザベート王妃国際音楽コンクール、1962年にはチャイコフスキー国際コンクールの首位に輝き、ピアニストとしての地位を不動のものとした。

その後、アイスランドに国籍を移し、ピアニストとしてのみならず指揮者としても世界中の主要なオーケストラとの共演を重ねる。現在はアイスランド交響楽団、シドニー交響楽団及びNHK交響楽団の桂冠指揮者、スイス・イタリアーナ管弦楽団の首席客演指揮者に就任。特に桂冠指揮者を務めるロンドンのフィルハーモニア管弦楽団との関係は深く、英国各

地に加え世界中の無数のツアーで指揮台に立ち続けている。2009年から13年まで首席指揮者兼アーティスティック・アドバイザーを務めたシドニー交響楽団では、2018年より桂冠指揮者として迎えられた。EUユース管弦楽団の音楽監督、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者、そしてNHK交響楽団の音楽監督としても活躍。首席客演指揮者を務めたクリーヴランド管弦楽団や首席指揮者兼音楽監督を務めたベルリン・ドイツ交響楽団とも深い繋がりを保ち続け、定期的に招かれている。

近年は録音が主ではあるが、並外れた演奏レパートリーを有するアシュケナージのピアノへの情熱は健在である。J.S.バッハの「フランス組曲」や「平均律

クラヴィア曲集」をリリースするなど、J.S.バッハの作品収録に力を注いでいる他にも、グラミー賞を受賞したショスタコーヴィチの「プレリュードとフーガ」、ラウタヴァーラの「ピアノ協奏曲第3番」、ベートーヴェンの「ディアベリ変奏曲」などの名盤をリリース。英デッカ・レコードと半世紀にわたり収録し続けてきたJ.S.バッハからショスタコーヴィチに至る膨大なレコーディングを集積した「ウラディーミル・アシュケナージ デッカ録音50周年記念ボックス」(50枚組のCDボックス)や、ラフマニノフのほぼ全作品を網羅した、ラフマニノフ・コレクションがある。



© Ari Magg

**アイスランド交響楽団**  
Iceland Symphony Orchestra

1950年に創設されたアイスランド交響楽団はアイスランドの国立機関として同国の文化シーンを常にリードし続けてきた存在であり、EU現代最優秀建築賞に輝いたハルパ・レイキャビク・コンサートホールに本拠を置いて活動をしている。年間を通じ定期公演や学校でのコンサート、ファミリー向けの親しみやすい内容から演奏水準の高さで定評のある現代音楽、また数多くのレコーディングやBBCプロムスを含むヨーロッパツアー、ワシントンDCのケネディーセンターやニューヨークのカーネギーホールを含むアメリカツアー等を通じその活動は幅広く聴衆から支持されている。

歴代の首席指揮者としては、ジャン=ピエール・ジャキヤ、ペトリ・サカリ、ラモン・ガンバ、イラン・ウォルコフ、オスモ・ヴァンスカが務め2016年9月からはヤン・パスカル・トルトゥリエが首席指揮者に就任した。ウラディーミル・アシュケナージは1970年代の初頭より定期的に指揮台に登場し、現在は桂冠指揮者の地位にある。また、レジデンス・コンポーザーとしてアイスランド人作曲家であるアンナ・ソルヴァルドスドットルがその職を務めている。

アイスランド交響楽団はドイツ・グラモフォン、シャンドス、ビス、ナクソス等、国際的なレーベルから録音をリリースしている。中でもペトリ・サカリの指揮に

よるシベリウスの交響曲全集は高く評価されている。最近では、ラモン・ガンバの指揮によるヴァンサン・ダンディの管弦楽曲全集をシャンドス・レーベルに収録し、最初の1巻はグラミー賞の最優秀オーケストラ・パフォーマンス賞にノミネートされた。2019年初頭にはヤン・パスカル・トルトゥリエの指揮とアイスランド交響楽団による最初のCDとしてシャルル・グノーの交響曲がリリースされる予定になっている。



Facebook, Instagram, Twitter icons and @icelandsymphony

#icelandsymphonyinjapan  
#sinfó



© Yuji Hori

**辻井伸行**  
Nobuyuki Tsujii, piano

2009年6月に米国テキサス州フォートワースで行われた第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクールで日本人として初優勝して以来、国際的に活躍している。2011年はカーネギーホールの招聘でリサイタル、2012年はアシュケナージの指揮でロンドン・デビュー、ゲルギエフの指揮でサンクト・ペテルブルクにデビュー。2013年にはイギリス最大の音楽祭「BBCプロムス」に出演し「歴史的成功」と称賛された。2014年にはゲルギエフ指揮でミラノ・デビュー。同年ルーヴル美術館でのリサイタルは世界ヘインターネット中継された。2015年には佐渡裕

指揮でウィーン・デビュー、ゲルギエフ指揮ミュンヘン・フィルとドイツ及び日本で共演。2016年はM.ザンデルリンク指揮ドレスデン・フィルとのドイツツアー、ロンドンでのリサイタル・デビュー、アシュケナージ指揮でのシドニー・デビュー。2017年はアシュケナージ指揮でベルリン・ドイツ響にデビュー、ユロフスキ指揮ロンドン・フィルと日本ツアー、パリのシャンゼリゼ劇場でのリサイタルが絶賛された。2018年はV.ペトレンコ指揮ロイヤル・リヴァプール・フィルとの日英での共演や、ニューヨークのカーネギーホールでオルフェウス室内管弦楽団との共演を

行い、2019年には同管弦楽団と3年ぶりの日本ツアーをはじめ、国内外に於いて注目の公演が多数予定されている。

2007年よりエイベックス・クラシックスより継続的にCDを発表し、2度の日本ゴールドディスク大賞を受賞。作曲家としても注目され、映画《神様のカルテ》で第21回日本映画批評家大賞を受賞。

2009年、文化庁長官表彰(国際芸術部門)。2010年、第11回ホテルオークラ音楽賞及び第1回岩谷時子賞受賞。2013年、第39回日本ショパン協会賞受賞。

<http://www.nobupiano1988.com/>

DECCA アシュケナーズ指揮のシベリウス&ラフマニノフ 好評発売中  
SHM-CD仕様 2枚組 定価:各¥2,250+消費税

好評  
発売中

## シベリウス

UCCD-5517/8

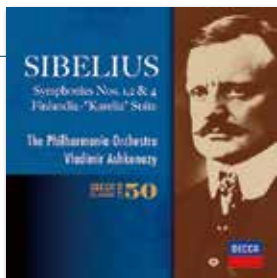
CD1

交響曲 第1番&第4番

CD2

交響曲 第2番、交響詩《フィンランディア》  
《カレリア》組曲

フィルハーモニア管弦楽団 指揮: ヴラディーミル・アシュケナーズ  
録音: 1979年~1985年 ロンドン



## ラフマニノフ

UCCD-5521/2

CD1

交響曲 第1番&第2番(前半)

CD2

交響曲 第2番(後半)&第3番

ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団 指揮: ヴラディーミル・アシュケナーズ  
録音: 1980年~1982年 アムステルダム



UNIVERSAL  
UNIVERSAL MUSIC 発売: ユニバーサル ミュージック

## アシュケナーズ指揮、アイスランド交響楽団のCD好評発売中!

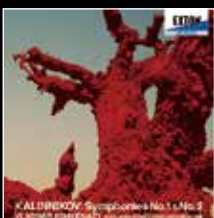
本日は会場でもCDを販売しています



### セグルビョルンソン: アイスランド現代音楽作品集

- |         |                         |
|---------|-------------------------|
| 1 歩様    | 4 ディアフォニー               |
| 2 霧     | 5 氷河のノクターン              |
| 3 苔のかけら | 6-8 フルートと管弦のための「コロソバイン」 |

ウラディーミル・アシュケナーズ(指揮) / アイスランド交響楽団  
ベルグリン・マリア・トマスドティール(フルート) 回・回  
OVCL-00130 ¥2,857(税別)  
録音: 2003年4月30日、5月2-3日 レイキャビーク、ハスコラピオにて収録



### カリニコフ: 交響曲 第1番 交響曲 第2番

ウラディーミル・  
アシュケナーズ(指揮)  
アイスランド交響楽団  
OVCL-00332 ¥2,857(税別)

録音: 2003年4月28-29日 レイキャビーク、ハスコラピオにて収録



### ストラヴィンスキー: 「火の鳥」 「プルチネルラ」 「春の祭典」

ウラディーミル・  
アシュケナーズ(指揮)  
アイスランド交響楽団  
OVCL-00333 ¥2,857(税別)

録音: 2004年6月5、8-10日 レイキャビーク、ハスコラピオにて収録

Octavia Records Inc. 最新CD情報はHP&WEBSHOPで! [オクタヴィア・レコード](#) [検索](#) [Twitter](#) [Facebook](#)

# 辻井伸行×アシュケナーズ ベルリンでの夢の競演が待望のライブCD化!



来日記念盤  
好評発売中

ベルリンのフィルハーモニーを舞台に、アシュケナーズの薫陶を受ける辻井伸行が、華麗に、そして感動的にショパンの名作を歌い上げ、会場を温かい感動に包み込んだ話題の演奏がライブCDとして登場。また、リサイタルのアンコール曲として、演奏する度に、CD化の要望が多く寄せられていたショパンのノクターンの名作3曲を同時収録。

## ショパン: ピアノ協奏曲第2番、ノクターン

ショパン: ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 作品21 **A70演奏曲目**

[ライブ録音] 2017年5月15日 ベルリン、フィルハーモニー

ショパン: ノクターン 第1番 変ロ短調 作品9の1

ノクターン 第2番 変ホ長調 作品9の2、ノクターン 第20番 嬰ハ短調《遺作》

[録音] 2015年11月6日&7日 ベルリン、テルデックス・スタジオ

辻井伸行(ピアノ)

ウラディーミル・アシュケナーズ指揮 ベルリン・ドイツ交響楽団(ピアノ協奏曲)

AVCL-25978 定価: ¥3,000(本体価格)+税



### ラフマニノフ: ピアノ協奏曲 第2番 **B70演奏曲目**

辻井伸行(ピアノ)

佐渡裕指揮 ベルリン・ドイツ交響楽団

AVCL-84055 定価: ¥2,000(本体価格)+税

好評発売中

avex classics



時を経ても、続く価値を。

**セキスイハイム**

UnIt Technology for the Future



すべてが先進という豊かさ。

## 新型 Parfait [ パルフェ ]

1983年の発売以来、セキスイハイムのフラッグシップモデルとして、  
多くのご家族に愛され続けてきたパルフェ。

そしていま、外装メニューの拡充と大開口が醸し出す格調高い多彩な外観をはじめ、  
エネルギー自給自足を身近にする新型VtoHシステムの導入など  
様々な先進機能を搭載した「新型パルフェ」誕生。

これからの暮らしをより快適に、より豊かに。  
時を超え、愛される住み心地と変わらぬ価値を実現します。



邸宅にふさわしい  
格調高さと機能美。



時を超え  
価値を保つ素材。



強さを備えた  
解放感。



エネルギー自給自足を  
目指す暮らし。

世界にまた新しい世界を。  
A new frontier, a new lifestyle.

**SEKISUI**

積水化学工業株式会社 住宅カンパニー  
〒105-8450 東京都港区虎ノ門2-3-17 虎ノ門2丁目タワー

www.sekisuiheim.com  
0120-369-816

私たちセキスイハイムグループは、お客様情報の適正な取り扱いに努めています。上記URLをご参照くださるか、お電話にて窓口までお問い合わせください。